

雜 錄

●米國製鐵界の現況

セール、フレザー會社
ブローニス述

今でも度々尋ねられることが二つあります。それは私共は金物の相場は今の相場が一番安い所であつて、この相場はなほ當分續くであらうと思ふのでありますが、それは何ういふ譯でと訊かれるのがその一つ。もう一つは若し米國では今實際非常に忙しいとすれば、値段もそれにつれて上る筈であると思はれるのに、事實一向高くないのは何うしたものであらうか、といふことであります。そこで此處にこの二つの質問に對して出来るだけ答へて見たいと思ひます。

産業局と主な製造家と會合して協議した結果三月二十一日に發表した値段は、當時の生産費を基礎として割り出した値段であると思ひます。これを前回申上げた時からしばらくの間、委員の手でその可否を調べてゐましたが、遂に海軍省と鐵道管理局は共に夫々注文を出すのにこの値段を土臺とすることにしました。しかし前にこの二つの役所が産業局で調査して得た結果提出したものを斥け、そのために同局の當事者は辭任の餘儀なきに至つたことは御記憶のこと、存じます。商品の生産費が金高にして少くとも十割増加してゐるといふことは案外人の考へてゐない事實であ

ります。従つて今は戦前に比較して値段を二倍にも爲なければならぬのであります。而かもこの戦前と云へば、極く利益の薄かつた時であります。ですから今言つたやうに値上げしなければ到底作業を續けて行く譯には參りません。その證據には製鐵界の最重要品たる銑鐵に就て見ると、昨年九月以降五月迄に閉鎖された工場の數は二百三十六に上つてゐます。尤もその後様子が變つて、再び開かれるやうになり、六月には殆ど元の通りになりました。六月中の生産高は五月よりも一日平均三千噸増加しました。それで需要がすつかりやつて來れば、今眠つてゐるやうな工場も残らず動き始める事と信じます。今のところ、下かつた値段で賣つたり、景氣の直るのを當て込んで買ひためたりしないで、金物業者はこのはつきりしない時期を退いて過さうとしてゐます。これは今は値段がそのドン底に落ちてゐるといふ證據であると同時に、彼等の態度の健全なのを示すものであります。そこで、我々は戦前の標準はもう棄て、仕舞つて、これからは三月廿一日の値段を以て物價を量る標準としなければなりません。ところが、戦争中生産力が非常な速度で増加したので、平和になつてからは凡ての工場を充分動かしておくだけの需要が無く、従つて工場には餘力があつて、仕事を探してゐるといつたやうな譯である故、値段が自然下るであらうといふ考が今だに多くの人々の頭に残つてゐます。しかし鎖の強さはその一番弱い環よ

り以上に出でず、また壕の中の水は壕の口の許す以上の早さで外に出るわけには行かないといふことがあるやうに、今日の状況を考へるには、目下労働問題が極めて重要な根本の問題であることを考への中に入れておかなければならないのであります。即ち労働者は一方賃銀の割増を要求しながら他方なるべく労働時間を少くしやうといふやうになつて居ります。それからまた一つには戦争中のあの恐ろしくも凄まじいほど大數量で且つ急を要した仕事は今最無くなつてゐるので、いろ／＼な機械も休んでゐる次第ゆゑ、燃料、原料品の産出にしても、運輸業にしても、いづれもその能力を充分に動かしてはゐません。戦争が始まつてから、米國へ來てゐた労働者で故國へ歸るものが非常に多く、このために労働者に不足を生じました。しかし彼等が再び米國へ歸つて來るとなると、その時には不良な者を入れないために、入國検査が以前にも増して嚴重になることとせうが、一方歐洲にしたところで、これから數年の間は宜い人間は他國へ出すほど餘つてはゐません。かういふ譯で、労働者の不足のために、當分生産高は昨年の秋頃のところまではなか／＼行かれないでせう。鐵管工場は既に一杯にやつてゐて、五ヶ月先まで注文濟になつてゐます。近頃出た軍艦用鋼板の注文五萬噸は三つの大きな工場に割り當てられました。これでこの三工場とも十八ヶ月は手が空かない譯であります。鋳力板と丸釘の工場は八割、板類の工場

は平均七割五分の程度まで仕事をしてゐますが、ユナイテッド、ステーツ、スチール、プロダクト會社の工場は八割八分までやつてゐます。それから銑鐵は七割、棒類工場は七割以上までやつて居ります。七月になつて三月の値段よりも一と上り値段が上りました。それは當地の商品の値段の三分乃至五分であつて、反對會社のうちの數社はもつと上げたいやうな様子を見せてゐました。殊に特別に安過ぎると見られてゐた丸釘と、それから一般に針金とを上げなかつたのでありました。戦後の好景氣時代が實際今既に初まつてゐるといふことは、未だ日本の方にはよく分つてゐないやうであります。若し米國で値段が現に急速に上りはじめてゐれば、成程と合點の行くことであらうと思ひます。で、また實際さうであるとすると、再びあの猛烈な思惑が初まることとありませうが、これは絶対に避けなければなりません。たつた今通つて來たばかりの苦しい峠の經驗を直ぐに忘れてはならないと思ひます。現下發展しつつある局面の脊後には合衆國製鋼會社が在つて、抑制してゐると信ぜられます。その譯はかうであります。米國の品物は今英國に持つて行けば、運賃を加へその上爲替相場の不利益があつても英國物より十五弗乃至二十弗安く賣ることが出來ます。また佛蘭西及び白耳義の工場の作業振は目下極めて遅々たるものであります。また獨逸は國內の需要を半分ほどしか充たせない有様であります。外がかういふ

府に縛られなくとも公明穩當な取引をやつて行ける自制力があるぞといふことを見せたいのであります。しかし乍らこれからの三年間ばかりは、鐵道及び建築業界の需要が猛烈になつて夥しき高に上り、その結果需要が生産力を超えるやうになると、どうしても値上げが起らずにはゐません。米國の麥の收穫豫想高は十二億三千六百萬ブシエル即ち我が約二億四千萬石で、同國未曾有の高であります。そして農家には一石二十三圓の値段が保證されてあります。しかもこれはほんの一例に過ぎず、他の農作物もすべてかういふ工合であります。かくして黄金の雨に浴した民の購買力は非常なものとなるに違ひありませんから、こゝに産業界の大活動時代が現はれて來るのは必定であります。品物があり餘つてゐる時には損をして賣り、少ない時には無暗矢鱈に値上げするといふよりも、何時でも時に應じて品物の原價を換へ、そして原價に應じて相當の利益を收めて行くといふやり方が勝つてゐるといふことが日本では未だはつきり頭に入つてゐないやうであります。これから五六の船積が來ると値段が下がると見て、買主は今日はいろ／＼な新荷の着くのを待つてゐます。若し日本の商人が經常費、倉敷料、利子等を勘定に入れて、いつまでも可也の収益を見て行かうとせられるならば、強ちこれまで度々やつて來たやうなこと、即ち時々何でも彼でも利益を獲やうといふので滅茶々な競争をして、結局儲けるのは好運に打つ突

つた者だけで、其外の者は高い品物を持つて苦しい目に遭ふといふやうなことをやらなくとも宜いのであります。來年度の入用な高を測つて、それに應ずるやうに買ひ、外國からでも乃至内地同業者仲間でも思惑賣買をするのを止めて、品物がるべく多くの手を経ずに消費者の手に入るやうにするのが、此際最も安全な穩やかなやり方であると信じます。

(附記) この報告書は印刷の後れたるためやうやく今頃御手許に差上げる次第であります。然るにこの間に製鐵界の模様に変化あり、只今の狀況とブリス氏が書中に申上げてゐることとの間には矛盾の點もあります。何卒そのお心で讀んで頂きたいのでございます。なほ現下の狀況等に就ては弊社金物係安藤兵部宛御問合せ下さるやうに願ひいたします。(大正八年八月、金物係安藤兵部)

●ブルツセルに於て發明家及技術家協會其他の萬國會議開催の件 大正八年九月三十日文部省専門學務局より左の書翰を受領せり。

通二合送第一〇九〇號

大正八年八月二十三日 外務次官 幣原 喜重郎

文部次官南 弘殿

今般在本邦白國臨時代理公使より發明家及技術家協會其他の團體の萬國會議を同國皇帝庇護の下に本年九月二日より六日迄ブルツセル、バレー・デ・アカデミーにて

開會せらるゝに付ては別添同會議に關する回章轉送方別紙寫の通申越の次第有之候に付委曲右にて御了知の上關係協會團體へ送付方可然御取計相成度此段申進候也

追て本件は農商務省へも及移牒置候

白國公使館 一九一九年八月二十日

拜啓小官は一九一九年九月二日より六日に至るまで我皇帝陛下の高大なる庇護の下にブラッセルに於て聯合國及中立國の發明家及技藝家協會其の他の産業的性質に關係ある智的團體の國際會議開催の御通知するの光榮を有し候會場は白國學士院に候就ては添付致置候同會議に關する回章を産業的性質の問題に關係せる諸協會又は諸團體に御回附有之候様各關係官廳に御傳達被下候は、感謝の至に存候 敬具

ルメール、ド、ワルゼ、デルマル

内田外務大臣殿

(本文省略)

●戰時獨國占領に於ける白耳義製鐵業

(一九一九年五月九日ニテアリング誌所載リオングレーナー氏論文摘譯)

戰前に於ける白耳義製鐵業の狀況は世人の知る所にして一度び此の國を歴訪せば同事業の如何に重要なりしかを諒知するに足るものありたり。一九一三年には銑鐵の產出高二百四十八萬五千噸に達し、又鋼材の產出は二百六十萬千噸にして、壓延工場に於ける製成品の產出高は合計二百

十六萬二千噸に及びたり。然るに獨逸が全土を蹂躪するに至り此の旺盛なりし事業は只其の廢跡を残すのみに至り、工場の煙突は空中に聳ゆるのみにて煤煙を吐くことなく建物は尙存在すと雖も工業は遂に其の生命を失ふに至れり。衝風爐、コンバーター、平爐、壓延工場、機械器具類の殆ど總ては掠奪し破壊し若くは作業恢復の不可能なるに至らしめたり、之を以て吾人は再び白耳義に於ける工業活氣の聲を聞くは何れの秋なるべき乎、又白耳義が鐵鋼の大生産國中に其の地歩を恢復し得るに至るは何れの年なるべき乎は不明なり。

一九一四年八月一日現在白耳義に於ける衝風爐は六十個にして其の内作業中に屬するものは四十九個にして其の總生産能力は一ヶ月銑鐵約二十六萬五千噸なりしが休戰當日に於て其の儘残り居たるものは僅かに四個にして其の總生産能力は六・二%に過ぎず、而して未だ不確實なれども恐らく年内には以前の生産能力の四四%に及び二十五個の爐は作業を始め得るに至るべし。又壓延工場の多くはダイナマイトを以て破壊せられ送風機關の多數も同様の悲運に遭へり、コッカーリル會社の工場に於ては十一個中九個の壓延工場は此の手段に依りて失はれ又十二臺の送風機關中残り居るは僅々三臺のみなり。Angree-Marlaye の工場及 La Providence に於ても之と状態を同くし又更に荒廢甚しきは Pol Boel 氏の所有に係る La Louviere 工場なり、之を總括

するに大製鐵工場に於ける破壊（衝風爐を所有する工場のみにて）は大凡の見積高二億千萬法なり、此の總額は一九一四年當時の評價に依る破壊工場直接の價格のみにて他の間接の費用を含まず。一九一五年度に於ける同國の產出高は極めて僅少にして鐵材の產出は六萬八千五百五十噸、鋼材は十一萬百八十噸、仕上たる壓延材は十六萬四千三百七十噸にして之は戰前銑鐵の產出高の僅々二・七五%戰前鋼材產出高の四・二二%に當るを以て非常の減少と云ふべし。

一九一六年の製鐵工場の產出高は左表の如し。

銑鐵	一二七・八二五噸
鋼鐵	一三七・五九〇噸
展鐵物	二二三・三三五噸

是戰前銑鐵の產出高の五一・四%にして又戰前鋼鐵の產出高の五・二九%に當るものなり、而して當時作業の如何なる状態にありしやを見るに或種の原料就中滿俺の缺乏にありたり、コツカーリル工場にありては獨逸人は吾人の良質なる滿俺を二分して五百六十噸を掠奪し（寛大にも）六十噸を殘し置きたり、然れども之獨逸人が購着されたるものにて實は六十噸にあらず千五百五十噸を殘したるものにて吾人は危險を冒して獨逸人より隱蔽し以て密かに一部は衝風爐に於てスピーゲルに又一部は電氣爐に於てフェロ滿俺に化成せしめ得たり、次に製鐵用の石炭の缺乏は吾人をして平爐に燃料としてピッチの使用を企てしむるに至れり、此の目

的を以て特殊の爐を作りたるが之により吾人は各種の平爐製鋼材を製作したり。

●英米兩國の製鋼能力

戦争の結果英國に於ける鋼材の産額に著しく變化を來せり、而して其の變化たるや産額に於けるよりも寧ろ其の種類に於て著し酸性平爐鋼は其の鑛石を多く輸入するものなるに拘らず、常に英國に於ては鋼材使用者の歡迎する所なりしなり、之が爲め戰前に於ては其の産額は全ベセマー及び平爐鋼の五〇%を占めたり然れども戦争の結果は多く内地産の鑛石を使用するに至り多くの平爐鋼は酸性より鹽基性に變せられたり。之が結果として酸性鋼の産額は千九百十八年に於ては全ベセマー及び平爐鋼に對し約四〇%となれり、而して米國にては千九百十七年に於て鹽基性鋼は全ベセマー及び平爐鋼の約七二%なり、尙次に著しき變化は電氣爐の使用にあり、英國に於て千九百十五年に電氣による鋼塊及び鑄鋼は二二、〇〇〇噸なりしもの千九百十八年には一五二、九二二噸即ち約七倍に増加せり、然とも米國に於ては更に大なる増加を來し千九百十五年の六九、四一二噸より千九百十七年の三〇四、五四三噸に増加し千九百十八年には少くとも六〇〇、〇〇〇噸を産したる見込なり、英國の産額一五二、九二二噸は獨逸の産額二二一、八二四噸に次ぐものにて將來本工業に關し獨逸及び英國の何れが第二位國となるやは多くの事情に基くものなれども現在よりすれば獨逸の方有望なるが

如し、昨年度に於ける加奈陀の産額は約一二〇、〇〇〇噸にして英國の産額に對して非常に少しとは云ふべからず、戰爭は鑄鋼材の使用を必要としたるが爲め英國に於ける千九百十九年の産額は二六一、九五〇噸にして千九百十七年の一八六、九二〇噸に比して約四〇％の増加なり、此の増加は殆ど米國と同様の率を保つものにて千九百十七年の産額は千九百十六年の産額に比して五〇％増加せり。鑄鋼材の戰時の産額としては英國は獨逸に及ばず、若し吾人の手にしたる統計にして眞とせば、獨逸は千九百十七年二一、四九五、〇〇〇噸乃ち千九百十三年の二九八、〇〇〇噸に對し約五倍を産出せり、米國に於ける千九百十七年中の鑄鋼材産額は一、四四一、〇〇〇噸なりしなり吾人は屢々戰時中ニ英國の製鋼能力の發展は五〇％以上なることを耳にせしも、千九百十八年發表の數字は遂に之を證するに至らず、昨年度に於ける英國の全鋼材の産額は九、五九一、四二八噸にして産額の記録は千九百十七年の九、七五二、三二八噸なりしなり、之れ戰前産額の記録たる千九百十三年の七、六六三、八七六噸を越ゆること僅かに二五％なり、然るに米國にては千九百十三年度の産額と千九百十七年度の夫れとを比較するに四〇％以上の増加を來せり。英國に於ける製鋼能力は一ヶ年一二、〇〇〇、〇〇〇噸を超過することなし而も現在の狀況は全能力を發揮し難し之れは獨逸、佛蘭西及び白耳義に於ても同様なり、然るに米國の製鋼能力は一ヶ年

四九、〇〇〇、〇〇〇噸乃至五〇、〇〇〇、〇〇〇噸にして明かに世界に於ける製鋼業中の主權を握るものなり、現今に於ける世界の製鋼能力は約九八、〇〇〇、〇〇〇噸と假定し得べし、之勿論白耳義及び佛蘭西が事業を回復し更に露國が平和に歸して以前の如く五、〇〇〇、〇〇〇噸を産出するものとしての計算なり、而して米國は戰前に於て世界の鋼材産額の四二％を占めたるものなれば今後に於ては五〇％以上を占むるに至るべし。

●米國鐵鋼罷業真相 米國の鐵鋼罷業は愈よ九月二十二日より實行せられたることは外電所報の如くなるが、其茲に至れる経過並に罷業の成否如何に關し信ず可き筋に達せる情報を綜合して報道せんに、米國労働者聯合會長ゴムパース氏は去る六月アトランチックシティの年度總會に於て曰く、最近製鐵業者の態度横暴なる嫌あり、依つて此際全國の製鐵労働者を含有する一大組合を組織し製鐵業者に對抗する必要ありと提案せり、同時に各製鐵工場の代表者たるべき合衆國鐵鋼協會々長たるゲーリー氏に出狀し工場に働きつゝある各組合員に對し現在如何なる待遇及意見をもち居るや又全労働者を一の大組合の下に置く事を工場主として承認する意思ありや否やを質問せり、之に對しゲーリー氏より何等の返答もせざりし由、茲に於て組合側は騒ぎ出し愈よ七月二十日二十四組合の各組分長がヒッツバークに會合し、左記十二箇條の要求を議決し向ふ三十日間

に各組合中より投票を集むる事とし、最後の手段として一般ストライキをする前に米政府に對し其要求を承認する様工場説服方を依頼すべしと發表せり十二箇條の基礎條件左の如し

一、團體契約をなす權利を承認する事。(換言せば全労働者を或一人が代表者と也全労働者に代り種々の交渉契約等をなす事)

二、組合の行動の爲め解僱せられたる労働者を復業せしめ同時に失業期間に對し給金支拂の事。

三、一日八時間労働。(一部には尙八時間以上を原則になし居るものもあり)

四、一週間(七日)の内一日休業とする事。

五、二十四時間交代廢止の事。(本項は二十四時間交代と記載あれども之れにては誤解の恐あり事實は八時間交代を三度なす事を意味す)

六、米國に於ける標準生活に充分なる迄賃金引上の事。

七、各種の仕事及び各労働者の階級に對する賃金の標準とすべきスケール制度の事。

八、時間外、日曜、休日勤務に對し倍額賃金支拂の事。

九、組合醸出金を賃金より差引徴收する方法を採用するごと。

一〇、従業員の維持、減少及び増加に關しては古參者優先主義採用の事。

一一、各工場が組織せる組合廢止の事。

一二、備入應募に對し體格検査廢止の事。

右議決丈けは爲したるもの、當時尙幾何の賛成投票を得るか組合側に確信なく時日を経過しつゝありし所、全國鐵道労働者問題起り且ユーエス管下の労働者中にも幾分組合の主張に賛成する者も現れたるらしく愈よ去る八月二十日前記二十四組合の組合長がヤングスタウンに會合し各地より投票を集め其結果二十四組合中九割八分の同盟罷業投票を得たりと組合役員に發表せり。同時に右十二箇條の要求を工場側が承認せざる時は同盟罷業すべしと主張し茲十數日の内に目下歐洲より歸國中のゴンバース氏到着次第同氏を主席とする委員會を組織し、ゲリー氏と最後の談判をする事迄に進捗せり、右に對し今回の罷業は逆も成功不能なるべしとの論據を列記すれば左の如し。

1、ユー、エス管下の労働者中組合に屬する者の割合は正確なる數字不明なれども、前記の通りゲリー地方は五割見當なれども他は二割五分に過ぎずとするもの全體の四分一以上に上らざるべしとする者もあり、過日の商業新報の説に依ればユー、エス全體労働者約三十萬人の内約八萬人位は組合の主張に傾き居る様なれども此の八萬人は皆不熟練労働者なりと云へり、(熟練労働者が組合主張に反對なるは事實なるもの、如し)之れは前述の四分一と合致するを見るべく何れにしてもストライキに投

票したる三十萬人は全國労働者の數（眞偽不明なれども某新聞紙は百數十萬となせり）に比し小部分にして、萬一此組合がストライキを爲すものとしても生産に二割以上の減少はなかる可しと爲せり、尤も組合に大部分支配せられ居る鉄力板、薄板、工場は非常の苦痛なる事勿論なれども後述の強味あり。

2、ユー、エス管下の労働者は單に割好き賃金のみならず家屋其他日常生活の上に多大の便宜を受け居り、或部分の者はユー、エスの株券の分與を受け居るものもあり、其の持株數勿論不明なれども約四萬人（全體の一割三分）にて九十萬株位はあるべしとの噂にて之等は一齊に組合要求に反對を唱へつゝあり、何となればストライキは自身の持株（目下百五十弗の價值ありとせらるゝ）價格の下落を意味すればなり、因に去る二十日は一時九十八弗二十五仙と云ふパー以下の相場を表はしたり、併し後直に百一弗迄引返たり。

3、二十四組合の内にて最多數の労働者を含有する最も有力なるアマルガメーテッド、アツシエーション、オブ、アイオン、スチール、エンド、チン、ワーカース（主として鉄力板、薄板工場に働き居るもの）は去る六月末にアトランチックシチーに於て鉄力板及薄板工場主との間に契約を締結し本年七月一日以後一ケ年間一定賃金の下に作業を繼續する事となり居る故若しストライキするとせば之

れ契約に對する違反を意味する事。

4、前記十二箇條中には一般公平なる見地よりして合理的とするものも四、五あれども他は今日の工場主として承認困難なるもの多し、左に之を指摘す。即ち條件(二)に就て云へば解備せられたる労働者が果して組合の行動に依るものなりしや否やを區別する事困難ならずや、(六)に就て云へば標準生活とは何か、製鐵労働者は他業に比し平均して好待遇を受け居り殆ど其最上位に居るものにして製鐵労働者賃金以外に標準なしと思ふと主張するものもあり、(一)、(九)、(十一)に就て云へば工場の管下に在る労働者は家屋其他日常生活に付、工場より種の保護を受け居り、且つ病氣其他の場合に於ても相當の保護設備あり、換言すれば工場は組合の代りとなりて可及的便宜を與へ居る現狀に對し事更らに今日別個の組合を拵へ、爲めに組合擔出金を賃金より差引かれ正味手取割合に少くなる事が果して各自労働者に満足を與へ得るや。(十)、(十二)に就て云へば組合中能力劣等者を増加さず弊あり、體格検査なくして身體薄弱なるものをも組合に入れ病氣其他仕事に堪へざるに至りたるものに對し工場主より報償金を取る事を組合の利益とする意味を含有するものとも考へらる。(尤も失業問題もあれども製鐵は他業に比し比較的過度の仕事故身體検査は必要也)次に組合側として強味ある點を列記すれば左の如し。

1、平和克復後歐洲方面へ労働者の流出烈しく反對に製鐵業は漸次繁忙を極め休戦後八釜敷かりし失職問題も何時しか其蔭を失ひ工場の擴張前必ず労働の過不足を考慮に入れる必要がある迄に今や不足の傾向を來しつつある事。

2、過激思想浸潤の爲め前記アマルガメーテッド、アソシエーション、オブ、アイオン、スチール、アンド、チン、ワーカーズとの契約の如き必ずしも有効と安ずるを得ず又ユー、エス配下の労働者中にも不満者もあるべく今日の非組合員は明日組合に加入せずとも不計事。

3、ユー、エスの六月末現在の過去三ヶ月間の利益は三千四百萬弗の巨額を示し事實資本家が巨利を獲得しつつある事。

右が今日迄の成行にして其來るべき結果に對する一般の輿論を最後に記述す可し、萬一組合が愈々同盟罷業する事となれば鐵力板及び薄板工場の中には休業の止むなきに立到るものあるや計り難きも、未だ組合の勢力薄弱にして他全體の労働者を動かす迄に至らず、大體二割内外の生産減じて作業繼續可なるべしと觀察せり、要するに今回の組合側要求に依り從來組合たるものが各職業に依り組織せられ居たりしものが今や産業に對し聯合する傾向を示し即ち本提議は正に其過渡時代にある事は労働問題上注目す可き點なりとす。(中外商業)

●滿鮮製鐵業不況

倭 國 一氏談

朝鮮兼二浦、鞍山站等の製鐵狀況を視察せられし倭博士曰はく「時局の好影響に伴ひて時恰も雨後の筍の如く簇生した兼二浦、鞍山站、本溪湖附近の群小製鐵所は其後休戦講和の聲と共に一溜もなく消失して其の殘骸のみを残し再び起つ能はざるの窮境に陥り居れる矢先、泣面に蜂と云つた調子で過般來コレラが猛烈に蔓延し出したので、其の地方に集まつて居た製鐵職工等も夫々皆四方に逃げ去つたやうだから、如何に鐵價が持直して來ても、此處暫くは再び往時の如き盛況を見ることは困難があらう、就中兼二浦の如きは最も甚だしいもので、曩に二人のコレラ患者を出したのが流行の先驅で此頃は全市に蔓延し、是が爲め附近一帯の交通を全然遮斷せる故同市は全く虎疫の爲め孤城落日の觀がある、従つて其製鐵産出能率に大なる影響であらうと思ふ云々。

●暹羅鐵材購入

暹羅國鐵道局は今般鐵道用軌條並に附屬品合計三萬二千佛噸を四箇年に互り供給方に關し公衆の入札を求むる旨發表せり、右入札は該鐵道局より供給の入札紙に記入し明年一月末日午後二時に同局に到着するを要す。

●米鐵生産減少豫想

米國製鐵所の労働者同盟罷工には一時暴動に變すべき形勢あり、資本家側にも非常の注意を拂ひ居りしが目下の形勢にては單にストライキのみには止まり居れり、數日前閉鎖せるイリノイス、コムローラ、

アメリカン・スチール・エンド・ワイヤの三大製鐵所は尙依然閉鎖中なるが假に罷工一箇月間繼續するものとせば米國內の大小製鐵所にて生産する總額一日平均八萬噸として尠くも一箇月間二百五十萬噸の生産減少を見るべく假令双方が妥協點を見出し再び就業するに至るも果して此減少を補充し能ふ製造能力あるや否やは疑問なり、是等の關係より日本内地の一般鐵物は東京市場五分、大阪一割方の値上を見たるが殊に薄鐵物は東西兩市場共に一割五分方騰貴するならんと云ふ。

●英米罷業と鐵價 世界の二大鐵産國英米兩國に於ける製鐵職工の同盟罷業は管に兩國の鐵材生産上のみならず世界市場の鐵材需給上に尠からざる影響を與へ各國に於ける鐵價は最近の入電によれば漸次昂騰しつゝあるが如く、英國に於てはクリーブランド物は全然輸出禁止状態にありて本邦海軍省の註文品さへ積出中止され居れるを以て當分民間より買付けは絶對に望みなきが如く、米國に於ても罷業擴大の傾向なれば今後の註文は固より既約品の積出しも遅延を免れざるべく、従つて今後の形勢如何によつては鐵材輸入上に一大支障を來すやも測られず近來瑞典より多少の輸入を見つゝあるも這は大部分特別用途に屬するものなるを以て多くを期待し難く只休戦後の輸入契約額相當多額に上れる關係上本邦市場は直接大打撃を蒙るが如きことは勿論なかるべきも、海外市況に連れて漸騰を免かれ難かる

べく目下銑鐵は平均百四十圓見當を唱へ目先氣配強調を示せり。

●八幡製鐵所拂出鐵價改正 鐵類原產地高を告げつゝありし折柄英米に於ける勞働紛争同盟罷業問題は益輸入不如意を招來すべく旁種々の事由に依つて昂騰せる市中相場と平衡を得せしむる爲め、八幡製鐵所は九月廿六日より左の通り製鐵拂出價格の改正を行ひたるが、ベース物は前値段と變らざるも不定物は十圓乃至廿圓の引上げなり。
 ベース二百四十圓△十六分の三吋二百七十八圓△三十二分の五吋二百八十六圓△一分板二百九十四圓△三十二分の三吋三百二圓△十六分の一吋三百二十圓

●日東製鋼近況 日東製鋼會社鉞力工場にては其後職工の養成に努め居たるが、漸次熟練職工を出し最近にては日産一二噸の増加を見るに至りたれば、豫定の如く本年内には日産十噸を製出するに至るべく、而して製品は目下高田商會織田商會の手を経て市場に賣擴められつゝあり相場も創業當時百封度二十五圓見當なりし外國品が目下二十七八圓となり同社製品も此相場を以て取引せられつゝこれは現在相當の利益を擧げつゝあり、故に此状態にて進まんか當初の計畫たるローラ十臺(現在三臺)年産三萬噸の實現は遠き將來には非ざるべしと。

●米國鋼鐵市況

米國鋼鐵市況近來著しく活況を呈し來れるは既に御承知

守谷氏の通信

の事と存じ候、太平洋岸より日本に至る運賃は二弗高と相成り、以前は一噸(二千封度)に付、十二弗のところ十四弗と相成候、日本は目下重レール、船材鐵板、棒鐵、瓦斯管、薄鐵板、錫板亞鉛引針金及び針金を多大に注文致し來り候英國の鋼鐵業者は率の高さと輸送不安定の爲め目下米國品と競争不可能なる状態に候、歐洲及び東洋の市場よりは多大の注文米國に殺到し來り夫れに刺戟されて國內の業務一般に好況に候、七月十日以來二三の主要工場にては下の如く値上實行致し候。

レール	一噸に付	二弗
針金類	一噸に付	五弗
錫板	百封度に付	五十仙

日米間の取引は日本の買手方には不利にて以前米國は金の海外輸出を禁じぬる爲め、日本の百圓は米貨に換算すれば約五十一弗致せしが昨今は四十九弗半程に相成り約三パーセント下落致したる譯に候。戦後は労働者の賃銀低下すべしと豫想致され候も事實は豫期に反し依然生活費の高さ爲め到る處に労働問題喧しく勞銀値上が要求致され候、其結果として製産は大規模製産費の低下に努め居り候も鋼鐵製産品の價格は騰貴一方にて其價格は下の如くに候。(一噸に付)

重レール附屬品一切付	七十五弗
輕 (同)	七十七弗

船鐵板 約 八十八弗

圓棒及角棒百封度三弗五七臺、瓦斯管は英國の表より四十三パーセント乃至四十五パーセント割引。

亞鉛引針金百封度 五弗四十仙

針金高炭素鋼 九十弗

同 低炭素鋼 八十弗

錫板(縱十四吋横二十吋百十二枚百封度最上一箱) 八弗五十仙

同(縱十四吋横二十吋百十二枚九十封度最上一箱) 八弗四十仙

上記の價格は横濱神戸及び上海にては保險料運賃等は賣手持に候、外國取引の標準は百圓は五十弗に當ると定められ船舶輸送は工場の異なるに依り多少相違致し候へとも現今にては注文受取日より一二ヶ月以内に積込致し候、或工場にては將來値上を豫期致し候爲め迅速に送るよりも寧ろ第四支拂期に送るの途を求めをり候。

●鐵材亞鉛鍍金開業 市外砂村東京亞鉛鍍金株式會社專務取締役山内定爾氏が豫てより計畫中なりし大型鐵材亞鉛鍍金も愈よ此程開始したれば、需要家は勿論建築家としても建築材料暴騰の折柄非常に好評を博し居れりと。

●米國鋼鐵產額 米國銑鐵及鋼鐵協會報告に依れば去る七月中同國鋼鐵產額は前月に比し三十萬噸の増加を見たり、最も右は同國に於ける鋼鐵產額の八割五分を占むる三

十五大會社の數字に就て計算せるものなるも其の一般を卜するに足るものと認めらる尙今年一月以降各月の産額左の如し。

一	月	三、一〇七、七七八噸
二	月	二、七〇四、六八三
三	月	二、六六二、二六五
四	月	二、二三九、七一一
五	月	一、九二九、〇二四
六	月	二、二一九、二一九
七	月	二、五〇八、一七六

尙昨年中の最高レコードは十月の三百三十五萬二千餘噸なりしか、今年に入りて産額減少したり、是れ鋼鐵工場同盟罷業頻發し休業或は工場閉鎖の止むを得ざるに至れるものあるに由ると。

●大冶鐵山近況

大冶鐵山の近況は頗る見るべきものありて、今や産額三十六萬噸の多額に達し之が運鑛船は三菱汽船三千噸以上の船舶十九隻を以てするの盛況にして、明年度より約六十萬噸の大多數量を送らんとする實況に在りて目下到る所排日思想瀰漫せるに拘はらず、大冶一帯は日支關係極めて圓滿にして當局者和氣の間に鑛務を處理しつつあり。

●廢鐵鑛の利用

鐵鑛自給の聲の喧しい今日年額約六十五萬噸の鐵鑛を廢物として捨て、居ると言つたら何人も

驚くであらうが、これは事實である、元來本邦銅山の製鍊法は總て乾式に依つて居て未だ何處の鑛山も濕式を採用して居ない乾式製鍊法であると銅に含んで居る鐵が取れない假令取れても非常に品位の悪いものであつて利用し得る鐵鑛の資格が無くなつて了ふのである、由來本邦銅山は含銅硫化鐵の鑛床であつて實に本邦特長の鑛床なのである、之は外國にも無いでは無いが一部分であつて本邦の如く總ての鑛山が皆それであるとは言へない、然るに本邦の銅山は或一二の例を除いて重要銅山と稱せらるる鑛山は皆此の含銅硫化鐵鑛である、それにも拘らず製鍊に乾式を採用して居るのは實に馬鹿々々しい譯で將來は何としても濕式製鍊をせねばならぬ必要がある。乾式であると銅を製鍊すると含有して居る鐵は硫酸や硫黄が混合して了つて勢ひ廢物とせねばならないのである、本邦の鑛山では大約七億萬貫程銅を製鍊して居る、此中にどの位鐵を含有して居るかは、各鑛山の分析表を精細に調べねば確實な數字は現れぬか、足尾銅山は廿三%あり、日立鑛山は廿五%位、別子銅山は三十%若しくはそれ以上あるから、大體平均を二十五%と見積ると實に六十五萬噸の鐵を無益に鍍としてロースして了ふ譯である、然れば何としても濕式製鍊に依らねばならぬ、濕式でやると先づ硫黄を焼いて硫酸として、次いで銅は藥品を以て熔かし然る後硫酸と鐵が残るのを各分離せしむるのである、此方法は既に外國では實行されて非常に良

成績を擧げて居るが、某外國より以上に含銅硫化鐵鑛の多い本邦では未だ不經濟な乾式で製鍊して居るのは技術の研究が足りぬのではあらうが、寔に殘念千萬である、而し某々二三大會社では此濕式製鍊の研究をして居るさうであるが未だ實行までには尠からぬ日子を費すらしい、早く實行に取り掛つて無益に捨てらるゝ六十餘萬噸の鐵鑛を利用したいものである。(帝國)

●特許 前號報告後鐵鋼に關係あるものを摘録すれば左の如し。

第三四七三九號 (大正七年七月三日 日出願)
(大正八年七月二十五日 特許)
特許權者 東京府 神谷春雄

電氣銲接機

發明の性質及び目的の要領 本發明は銲接せんとする金屬板を壓着せしむる電極金物を上部は扇形板下部は直徑の小なる滑車となし、扇形板に附したる把手により累合せる金屬板の銲接を行ひつゝ之を送り出す如く構成せる電氣銲接機に係り、其目的とする所は金屬板を或長さの間連續的に銲接し、迅速容易に氣密水密の接合を行ふにあり。

特許請求の範圍 一、本文所載の目的に於て本文に詳記する如く累合せる金屬板を挾壓すへき樞着せる扇形板電極及び滑車電極を設け扇形板電極の把手を動かして金屬板を銲接しつゝ送り出す如く構成したる電氣銲接機。二、本文所載の目的に於て本文に詳記する如く扇形板電極を樞着せる挺の他端を彈條を介して踏板に連結し此踏板の壓下により扇形板電極と滑車電極とを互に壓着し且つ開閉器を閉づる如く構成したる請求範圍第一項に記載せる如き電氣銲接機。

第三四七五三號

(大正六年五月十五日 日出願)
(大正八年七月廿八日 特許)
特許權者 米國 ジー 電氣會社

線引金屬型合金

發明の性質及び目的の要領 本發明は鐵の五乃至十五%を含有する線條線引金屬及び類似物に適當なる鐵及びタングステン合金に係り、其目的とする所はタングステン及び類似硬質の難熔金屬を線引する型に適當なる合金を提供して型の費用を節減しタングステン線特に加熱線引なすべき太さのものに對する型の線引型を容易に且つ廉價に製作し得しめんとするにあり。

特許請求の範圍 一、本文所載の目的を以て本文に詳記し別紙圖面に依て説明するが如く鐵の五乃至十五%を含有して線條線引用金屬型及び類似物に適當なる鐵及びタングステン合金。二、本文記載の目的を以て本文に詳記し別紙圖面に依て説明するが如く緻密に凝集したる塊狀物たらしめたる請求範圍第一項の合金。三、本文記載の目的を以て本文に詳記し別紙圖面に依て説明するがごとく約十%の鐵を含有せしめ其緊張力と擦耗抵抗力とに於て純粹半融タングステンに勝るものたらしめたる請求範圍第一項或は第二項の合金。四、本文に詳記し附屬圖面に就て記載したる如き線條線引用金屬型及び類似物に適當なる合金。